



Omiyanosato 園だより

お宮の里幼稚園 園長 高杉由明

○一学期が終わりました

台風の到来で梅雨明けを迎えないまま一学期が終わりました。予定していた水遊びも天候のせいで、計画の半分程度しか実施できませんでした。それでもこの一学期に子ども達は楽しい行事をたくさん体験しました。集団生活の中で協調性や協同性が培われ、思いやりの心も確かに育っています。明日からは長い夏休みに入ります。子どもたちにはこの夏休みにしかできない事、たとえばお風呂掃除や食事の後片づけなど、お家の方と一緒に毎日継続的にお手伝いをしてはどうか？ 家族の一員として自覚するには良い機会だと思います。

○子どもさんの健康が心配です

夏休みは熱中症が特に心配です。水分をよく摂取して外出時には帽子を被るように習慣づけてください。今、手足口病が全国的に流行しています。予防方法は手洗いとうがいです。幼稚園でも年間通して手洗いとうがいの励行を心掛けてさせていますので、お家の方でも注意して続けるようにお願いします。

この一学期のあいだに様々な病気について、発症からどれくらいして登園したらよいのかを何人かの保護者の方から尋ねられました。北九州市では基準を下記のように考えられているようなので参考にしてください。子ども達は抵抗力も弱く、症状が悪化する可能性もありますので、完治するまで外出は控えた方がよいと思います。

また、他の子どもに感染することもありますので気を付けて下さい。

- ・インフルエンザ…発病後5日以上かつ解熱してから3日経過する
- ・感染性胃腸炎…全身状態の改善と嘔吐、下痢が落ち着くまで
- ・手足口病…発熱がなく食事がとれて元気な時
- ・百日咳…特有の咳が消失するまで
- ・溶連菌感染症…抗菌剤投与24時間後、解熱してから
- ・おたふくかぜ…耳下腺の腫脹が発現して5日を経過して、かつ全身状態が良好になるまで
- ・水ぼうそう…すべての発疹が痂皮化するまで
- ・麻疹…解熱した翌日から3日を経過するまで
- ・風疹…発疹が消失するまで

北九州地区小児科医会・北九州市医師会発行「子ども健康ニュース」より

○保護者会そしてパパ友会の皆さまに感謝しています！

今年の「ゆかた会」が一週間後に迫りました。これまで、保護者会の役員を初め、パパ友会の皆さま方には時間をかけて準備をしていただき感謝しています。今年は昨年とは内容が若干異なりますが、ご家族の皆さまで楽しいひとときを過ごせると思います。是非、ご家族大勢でお越し下さい。子ども達は一生懸命に「出店」で皆様をお迎えする準備をしました。



プール開き（6月17日）

待ちに待ったプール開きでした。安全を誓ったテープカットを代表の年長さんがしました。



じゃがいもの収穫（6月17日）

自分達で大事に育てたジャガイモを収穫しました。今年は日照時間が少なかったので生育を心配していましたが、立派な大きなジャガイモが採れました。



七夕飾り見学

今年も北九州空港にみんなで作った七夕飾りを見学にいきました。空港に来た多くのお客さんにもみていただきました。空港の方におみやげもいただきました。



松ヶ江プール

学年ごとに松ヶ江プールに行きました。広いプールでのびのびと遊べました。夏休みにはお家の方と是非一緒に行ってみて下さい。